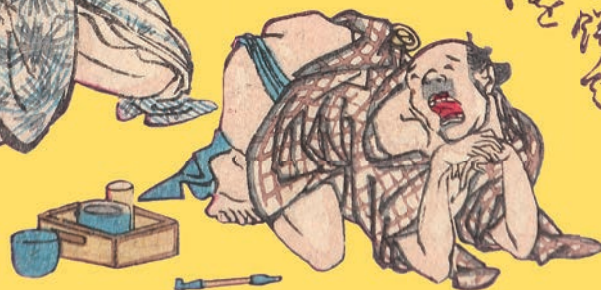


明治の
サニタリ



おもひる江戸の浮世絵展

江戸の
ユイモア



あんたが
おもしろ
なう

2026.1.4(日)～3.22(日)

休館日 月曜日(祝日の場合翌火曜日) 年末年始 12月29日～1月3日

浮世絵の祖生誕地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYO E MUSEUM

◆学芸員ギャラリートーク 1月25日(日)・2月21日(土) 各回13:30～(参加自由・入館料が必要です)

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分

車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分 国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00～17:00(入館締切 16:30)

◆入館料 一般・大学生 500円 小中高生 400円 (団体20名以上 100円引)



記念館HP

/ おもしろクイズラリーも開催!! \



「童戯武者尽 めえ回し 二八そば敦盛」歌川広重



「即興かげぼしづくし 梅にうぐいす」歌川広重



「東京開化狂画所 麻布広尾原」月岡芳年

日本人のユーモアセンスここにあり

浮世絵にはいろいろなジャンルがあります。特に幕末から明治にかけて流行したのが、江戸っ子のユーモアが抜群に表現された戯画、狂画、遊び絵などです。世間を風刺したり、ばかげた戯れの絵に誰もが笑いあったのです。明治になると、さらに洒落た笑いや皮肉たっぷりの絵が評判となっていきます。元来、日本人はこうしたおもしろコンテンツが大好き、これが日本独特のマンガ文化の隆盛につながっていくのです。

この展覧会は、江戸っ子絵師としておもしろおかしい浮世絵を存分に描いた広重、国芳、芳年、清親、暁斎らの戯画作品や明治の子供向け遊び絵などを通して、日本人のユーモアセンスを紹介します。



「狂斎百図 孫悟空 やぶから棒」河鍋暁斎



「拳遊び」歌川国芳

◇ギャラリートーク 1.25(日)・2.21(土)
各回 13:30~
参加自由 要入館料

◇おもしろクイズラリー
展示クイズに全問正解すると
遊び絵の組み立てキットが
もらえるよ



「麻疹退治」歌川芳藤



「三十二相 追加百面相」小林清親



「日本萬歳 百撰百笑」小林清親



「新板切りぬきおどり人形」歌川芳藤

入館
割引券

このチラシ
ご持参の方
2割引
(1グループまで)

浮世絵の祖生誕地 きよなんの浮世絵ミュージアム

菱川師宣記念館

HISHIKAWA MORONOBU UKIYOE MUSEUM

千葉県安房郡鋸南町吉浜516 ☎0470-55-4061

◆アクセス 電車 JR内房線 保田駅下車 徒歩15分
車 富津館山道路 鋸南保田ICより5分 国道127号沿い 道の駅きよなん内

◆開館時間 9:00~17:00 (入館締切 16:30)

◆入館料 一般・大学生 500円 小中高校生 400円 (団体20名以上 100円引)

公式サイト <https://www.town.kyonan.chiba.jp/site/hishikawamoronobukinenkan/>



菱川師宣
記念館HP

